



町田第二地区 協議会ニュース

第5号
平成30年3月
発行及び発行責任者
町田第二地区協議会
代表 中 一登

誰もがいつまでも住み続けたいと思える地域をめざして…



いっせい防犯パトロール実施

地区内では、各町内会・自治会ごとに防犯パトロールが行われています。昨年12月13日(水)には、地域全体でまちの防犯に取り組んでいることを発信するため、「いっせい防犯パトロール」を実施しました。

防犯パトロールは夕方や夜に行われることが一般的ですが、今回は昼間に行いました。パトロールでは、危険な場所を新たに発見できたり、タバコの吸い殻などが多数捨てられている場所があるなど、地域により状況が異なることがわかりました。今後もより有効なパトロールを検討していきます。



きれいなまちと防犯…

1台の自転車を放置したことで、さらに放置自転車が増える、1個のポイ捨てが、多くの不法投棄を招く…。そのままにしておくと「なにをやってもいいんだな」という無秩序の雰囲気生まれ、犯罪が起こりやすくなります。こうして地域の秩序が乱れていくうちに、最後には重大犯罪を招いてしまう…これが「割れ窓理論」です。ゴミを拾う、落書きを消す、自転車置き場を整理する…まちの環境美化は防犯にも効果的です。環境を美しく保つことは生活にも安らぎを与えて一石二鳥です。



見守り

子ども・高齢者の見守り

町田第二地区協議会は、「子どもの見守り事業」「高齢者の見守り事業」そして「防災・防犯事業」を取り組みの3本柱としています。

今年度は、1面の防犯パトロールの他、下校時のいっせい見守り、そして高齢者の見守りを進めるための認知症講座を開催しました。

下校時のいっせい見守り



地区内には6つの小学校があり、毎日多くの子ども達が通学しています。町田第二地区協議会では、子ども達の安全を確保するため、設立当時から登下校時の見守りに力を入れてきました。

しかし、下校時間は学校や学年により違いがあり、時間帯が広く、登校時のように見守りをおこなうことは難しい状況です。下校時の見守りを進めていくため、昨年12月20日(水)の午後、各学校の下校時間にあわせ、見守り活動を行いました。

高齢者への思いやり 認知症を知ろう！



団塊の世代が後期高齢者となる平成37年になると、75歳以上の人口は7万3千人、65歳以上では11万9千人、また65歳以上の5人に1人が認知症になると推計されています。

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です。認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けていくためには、地域の支えや住民一人ひとりが認知症を理解することが重要となります。

そこで、認知症を理解することを目的に、本年1月25日、26日及び30日に「高齢者への思いやり 認知症を知ろう！」の講座を地区内3箇所で開催しました。

次年度に向けて … ワークショップ開催

本年3月9日(金)、市庁舎2階市民協働おうえんルームにて、ワークショップを開催しました。

ワークショップでは、2017年度の取り組みを振り返るとともに、1月24日に開かれた地区別懇談会(町田市地域福祉部、社会福祉協議会共催)で出された地区の様々な課題等を参考に、「いつまでも住み続けたいと思える地域」となるために2018年度にどのような取り組みを行うのか検討しました。



地区協議会とは

地域住民の生活全般に関わっている町内会・自治会連合会と、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会の他、教育・福祉・防犯・防災等の多様な専門分野で活躍する地区内の各種団体が一つのテーブルに集まり、地区の情報を共有し、地区の課題について話し合い、取り組むべき事業を自ら選択し、実施するための組織です。

町田第二地区協議会構成団体

町田第二地区町内会・自治会連合会、青少年健全育成地区委員会(町田中央・森野・本町田・薬師地区)、民生委員児童委員協議会(町田第一・町田第二地区)、町田第一小学校、町田第三小学校、町田第四小学校、本町田東小学校、本町田小学校、藤の台小学校、町田第一中学校、薬師中学校、町田高等学校、町田第1・町田第2高齢者支援センター、町田市消防団第1分団、町田市社会福祉協議会、町田デザイン専門学校